



### 2017 J2 順位表 第 09 節

勝点、得点、失点、得失点差、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

|    |       |     |    |    |     |     |
|----|-------|-----|----|----|-----|-----|
| 1  | 東京 V  | 18p | 14 | 6  | +8  | A●  |
| 2  | 横浜 FC | 17p | 11 | 5  | +6  | H●  |
| 3  | 名古屋   | 17p | 16 | 11 | +5  | A△  |
| 4  | 徳島    | 17p | 11 | 7  | +4  |     |
| 5  | 湘南    | 17p | 13 | 10 | +3  | A△  |
| 6  | 大分    | 16p | 10 | 7  | +3  |     |
| 7  | 福岡    | 15p | 10 | 9  | +1  |     |
| 8  | 松本    | 14p | 11 | 7  | +4  | H●  |
| 9  | 長崎    | 13p | 11 | 10 | +1  |     |
| 10 | 山形    | 13p | 9  | 9  | 0   |     |
| 11 | 岐阜    | 12p | 13 | 12 | +1  | --- |
| 12 | 町田    | 12p | 10 | 9  | +1  | AO  |
| 13 | 愛媛    | 12p | 8  | 8  | 0   |     |
| 14 | 岡山    | 12p | 9  | 10 | -1  |     |
| 15 | 千葉    | 12p | 9  | 13 | -4  |     |
| 16 | 水戸    | 11p | 10 | 11 | -1  | HO  |
| 17 | 熊本    | 11p | 10 | 12 | -2  |     |
| 18 | 山口    | 9p  | 8  | 11 | -3  | H△  |
| 19 | 京都    | 8p  | 10 | 14 | -4  |     |
| 20 | 金沢    | 8p  | 6  | 12 | -6  |     |
| 21 | 讃岐    | 7p  | 11 | 13 | -2  | AO  |
| 22 | 群馬    | 1p  | 4  | 18 | -14 |     |

### 次回 Home Game

第 12 節 vs. 大分 トリニータ

5/7 (日) 16:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

**大酒場 ホムラン**

TEL. 058-263-5201

名鉄岐阜駅前 (三菱東京UFJ銀行隣り)  
年中無休 午後 3 時から営業

**Living in Woods**

本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

**岡田歯科医院**

岐阜市加納新本町 1-23

tel: 058-273-8998

**ALADDIN**

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町 3 丁目 (木ノ本公園東)

### today's guest : ツエーゲン金沢

2016 J2 8 勝 15 分 19 敗 勝ち点 39:21 位

#### 直近の対決と結果

2016/07/20

J2 - 24 節 @ 長良川

岐阜 0-1 金沢

#### ここ 3 試合の公式戦の結果

| FC 岐阜                                  | ツエーゲン金沢                               |
|--|---------------------------------------|
| 2017/04/23 J2 - 09 節 @ ビカスタ 讃岐 1-3 岐阜  | 2017/04/23 J2 - 09 節 @ 石川西部 金沢 0-2 熊本 |
| 2017/04/15 J2 - 08 節 @ BMW ス 湘南 3-3 岐阜 | 2017/04/15 J2 - 08 節 @ 大銀ド 大分 1-0 金沢  |
| 2017/04/08 J2 - 07 節 @ 長良川 岐阜 2-1 水戸   | 2017/04/08 J2 - 07 節 @ C スタ 岡山 0-1 金沢 |

●4/1 (土) 第 6 節・アウェイ町田戦で、待望のシーズン初勝利を手に入れた FC 岐阜。ホームに戻っての 4/8 (土) 第 7 節・水戸戦は、雨のピッチに苦しんだが 2-1 で勝利。今シーズン初となるホーム戦勝利、連勝、そして J リーグでの通算 100 勝を達成する大きな節目を迎えることができた。その勢いのままアウェイの地へ乗り込んだ 4/15 (土) 第 8 節・アウェイ湘南戦は、後半に激しい点取りのシーソーゲームに。一時は勝ち越したが残念ながら追いつかれてしまい、3-3 の引き分け。続く 4/23 (日) 第 9 節・アウェイ讃岐戦は、前半に 2 点を先制したものの後半に自らのミスで 1 点を返され、押し込まれる状況が続いたが最後に 1 点を決めて 3-1 で勝利することができた。

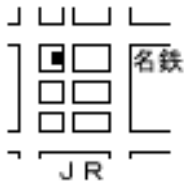
4 月に入り、1 引き分けを挟んで 3 勝。4 試合負けなしと好調振りをみせる FC 岐阜。これで、戦績を 3 勝 3 分 3 敗と五分に戻した。しかも、9 節終了時で得失点差がプラスなのは、FC 岐阜が J2 に参入した 2008 年シーズン (+2) 以来のこととなる。ただし、その時の成績は 3 勝 2 分 4 敗と負け越し。9 節終了時に勝ち越していたのは 2016 年シーズンだけ (5 勝 0 分 4 敗) だが、その時の得失点差は -3 だ。つまり、この時点だけを採れば、J リーグ参入 10 年間で最もいい戦績を残していると言えるだろう。また、第 9 節は上位陣が足踏みをしたこともあって上位~中位の勝ち点差が縮まり、現在は 2 位 (横浜 FC) から 17 位 (熊本) までの勝ち点差が 6 という大混戦だ。FC 岐阜も現在は 11 位と、その混戦の渦中にある。

プレーオフ圏内 (6 位以上) も勝ち点差 4 だが、一方で自動降格圏 (今季は 21 位以下) も勝ち点差 5 と、まだまだ 1 試合の結果で大きく順位が変動する状況だ。そして、今節からはシーズン序盤のヤマ場となる、中 3 日間での GW 3 連戦が始まる。ここを勝ち越しあるいは 3 連勝で通過できれば、チームの自信にも繋がり今後が期待できるものとなるだろう。そのためにも、この試合は何としても勝利したい。

さて、その GW 3 連戦・初戦の対戦相手は ツエーゲン金沢。J 参入 3 年目、昨年は 21 位で入れ替え戦を制し、残留を決めたチームだ。今シーズンも現在 20 位と低迷しているが、勝ち点は 8。つまり岐阜との勝ち点差は 4 しか開いていない。しかも、金沢との J リーグでの通算対戦成績は 1 勝 1 分 2 敗・3 得点 5 失点と負け越ししており、ホーム戦でも連敗中。昨年は監督交代の決定機になった屈辱的な敗戦だった。我々は決して油断せず

に戦い、今年こそはリベンジを果たしたい。金沢でまず注意すべき選手は、昨年、鳥栖から期限付き移籍した #10 F W 中美慶哉だろう。今年も移籍期間を延長して 10 番を背負い、現在 3 得点。まさにチームの中心選手だ。そして、現在 2 得点の #9 F W 佐藤光一。2008 年に FC 岐阜で特別指定選手となり、2009 年には 16 得点。この記録は 2014 年にナザリトが 17 得点で更新するまで、岐阜のシーズン最多得点 (今も 2 位) の記録だ。また、2012 年までの 5 年間で J2 通算 39 得点を挙げ、今でもクラブ最多記録を持つ選手だ。佐藤も古巣・岐阜相手に気持ちが入っているだろうが、今節は活躍させる訳にはいかない。なお、現在までの金沢の総得点は 2 人合計で 6。この 2 トップを止めることが、岐阜の勝利の必要条件であることは間違いない。一方の岐阜では、同じく古巣対戦となる #7 田中パウロ淳一の活躍に期待したい。

金沢は連勝後に連敗しており、何としても 3 連敗は避けたいと、この試合に強い気持ちで臨んでくるだろう。しかし岐阜も先述したとおり、この試合は結果が非常に重要だ。奇しくも隣県対決、「白山ダービー」と銘打たれた一戦は、双方とも負けられない、激しく厳しい試合になるだろう。そんなタフな試合を戦う選手たちの背中を、僕らは最後まで後押しできる拍手と声援を送り、ホームスタジアムの雰囲気でも包み込み、そして勝利を掴み取ろう。万歳四唱の歓喜とともに「今年の FC 岐阜は違う」と、あらためてクラブに関わるすべての人たちに、そして J リーグ全体に示してみせよう。(ささたく)



「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は JR 岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。休: 月曜日

**投稿募集 !!**

[gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第7節】岐阜 2-1 水戸

●雨のち通算 100 勝。天気予報がひっくり返って、絶好の花見日和な日曜日。予報をひっくり返してくれて助かったよ、お天道様（笑）。

それにしても、ね。大木サッカーの天敵は「雨の長良川」かと思ってたんだけど、まさか、あのピッチでいつものサッカー始めるとは思わなんだ。もっとも、試合後のコメントからすると、監督自身も全く意に介してなかった、というか、予測してなかったんだろうね。昨季からいる選手やスタッフは反省が必要なんでは？町田戦同様、先取点決められてたらどうなっていたか……。 (前田) 大然、怖かったよ、大然。へニキがチンチンにされてたもん。黄紙一枚で済んでよかったね。そんな流れからの 2-1。今季ホーム初勝利。4月の内に白星挙げられてよかった。ようやく、ポゼッションのためのショートパスと裏狙いの長い縦パスのバランスが取れてきたんじゃないかな？アクセントが付けられたような気がした。ナンちゃんの良さを活かすためにも、コレがベストだと思う。その支配率は低下。ま、ピッチの状態がアレではやむを得まい。今後もこの状態のピッチとは何回も付き合わなければならぬんだから、きっちり特徴をつかんでおいてほしいものです。

試合は 1 点差だったけど、ゴールを決めたのは全部ウチ。ただ、オウンゴールの起因となった大本のタックル。アレでファールは厳しいと思うんだがどうだろう？足が上から下へ膝裏から滑って、なおかつボールに正しくチャージ。ホーム側ゴール裏の自分の位置からでは、そう見えた。ま、ボールにいったかどうかは主審が一番近くで……と思ってるから諦めたんだけど、ハイライトとか見ても……ねえ？でも、しょうがないか。スローインでオフサイドの旗を上げる副審と比べたら何でもない。主審が当たり前にプレー続行促してて、ホッとしました（苦笑）。

そんなことはさておき、古橋くん！ようやく決めてくれたね。しかも、ヘッド。決めきれずにいた右足ではなく、鮮やかな瞬間移動とバネの効いた滞空時間。一瞬、森山か？と思ったけど、彼のような野性味溢れるソレではなく、寿人みたいな感じのゴール。背番号的にもそうなるかな？逆に、またしても決められなかった大本くん。惜しいっ！けど、アレも「粹に入れなきゃ！」だよ。ただ、ずっ〜と走り通したラストプレーなんで、この要求は酷かな？いや、やはり、そこは、ね。それから、決勝ゴールとなった永島のシュート。エロかった〜（笑）。ゴールに蹴りこむ、ぶち込むんじゃないで、流し込む、あるいは、ゴールにパスするような。しかも、相手 DF の股間を通すなんて……。もっと見せてください。待ってます！

そんなワケで、冒頭に書いた通り、今季のホーム初勝利は J 通算 100 勝目。おめでとう！今まで関わってくださった全てのみなさん。あのンダスタから十年か。長かったのかな？そんな気がしないのは意識してなかったからかもしれないね。「100 勝」なんて。しかし、仲間が教えてくれたけど、そのうちの 10 勝が水戸さんからって……。 (苦笑)。いったい、いくつのクラブと対戦してんだか……。ホント、水戸先輩あつての十年でした。アニサカのコラボもやれて幸せです。そして、ワタクシごとですが、そんな記念すべき日が、なんとワタクシの誕生日！そうか、オレの誕生日に合わせるために、今季ここまで長良川で……。 (大違)。

以前にも誕生日が重なったことがあったけど負けたよね？と、クラブより詳しい岐阜サポ仲間の戦績書庫で確認したら、やっぱり J 参入リーグ以降は 1 回だけ。京都に 0-1 で負けてた。でも、JFL の時は長良川で勝ってたよ！三菱水島相手に 1-0。得点したのは子犬（ジョルジーニョ）だった。すっかり、忘れてましたよ、ええ。ステキなプレゼントをありがとうございます。でも、200 勝目はもっと早くてかまいませんから。せめて、半分の 5 年くらいで。(ぐん、)

●どうやら FC 岐阜は、横浜 FC 戦と東京ヴェルディ戦の間で、「試合の進め方」というか「サッカーのやり方」に変化をつけたように感じる。D A Z N で公開されるデータからもそれは伺える。ヴェルディ戦と町田ゼルビア戦では、横浜戦までの 4 試合と比べてボール支配率が下がり、パスの本数も減った。ぼくはそれを「いい傾向」だと思う。この 2 試合では「ボールを相手ゴールに近づけよう」という縦方向の意識が目に見えるカタチで出てきていた。やはり生粋の FW である難波の存在は大きい。コーヤの FW も頑張っていたと思うが、「相手ゴールに向かって最後の仕事をする」という部分での意識の高低はどうしても出てしまう。

この日の長良川は雨。ボールを動かしていくピッチ状態で横浜戦までのような「ただつなぐだけ」のサッカーをやっていたら、おそらくパスカット→カウンター→の餌食になっていただろう。しかし、この日の FC 岐阜は違っていた。先制点のシーン、ラストパスのクロスを入れる右サイドのシシーニョの周囲に FC 岐阜の選手が 5 人いた。「つなぐサッカー」を意識してか水戸の守備陣も 6 人いたが、パスの受け手へのマークで精一杯、シシーニョへのプレスはまったくなかった。ゴール正面には 2 人の DF がいたが、隙間に入り込もうとする古橋をつかまえてはいなかった。これなら、シシーニョの技術ならピンポイントで精密クロスを入れられる。「細かくつなぎながら、相手ゴール前でフリーな選手を作る」という『手段としてのパスサッカー』が結果に結びついた瞬間だった。

横浜戦までの“大木サッカー”には不安を抱いていた。選手のプレー選択も、まるで「厳しい先生から『とにかくボールをつなげ、シュートよりもまずパスだ』と言われて、必死になってパスつなぎに徹している」ような印象があった。ヴェルディ戦以降「モードアップ」したように思える“大木サッカー”。それをホーム・長良川で、内容も結果もしっかりと、ぼくらに見せてくれた。(吉田铸造)

## 【セカンド】天皇杯に出られず…

●4/9 (日) に長良川球技メドウにて天皇杯岐阜県代表の選考を兼ねる岐阜県サッカー選手権大会の決勝が開催されたので観戦に行ってきました。決勝に勝ち上がったチームは FC 岐阜セカンド (以下セカンド) と岐阜経済大学。前半はボールをセカンドが支配して何度もチャンスを演出していましたが、中々ゴールを割る事が出来ず。逆にカウンターからチャンスを得た岐阜経済大学が冷静に DF と GK を交わして先制点を取りました。その後セカンドは早く追い付こうとチャレンジしていたと思うんですが、前半 35 分に DF のバックパスが無人のゴールに入ってしまう、まさかのオウンゴール。これは大変もったいなかったですね。

早い時間に 1 点返せれば又展開が違って来ていたとは思いますが、セカンド自身のミスも有って得点する事が出来ないまま時間がどんどん過ぎて行ってしまい、後半終了間際に逆に岐阜経済大学に追加点を入れられてしまい、ジ・エンド。セカンドの今年のお天杯チャレンジは終了してしまいました。因みに県代表となった岐阜経済大学は 4/22 に同じくメドウにて新潟県代表の新潟医療福祉大学と天皇杯 1 回戦を戦いましたが、残念ながら 1 対 3 で敗退し、2 回戦でセレッソと対戦する事は出来なくなってしまいました。

天皇杯は暫く間隔が開いて、2 回戦は 6/21 (水) に予定されています。FC 岐阜は徳島ヴォルティスと鳴門大塚スタジアムにて対戦する事になっています。(シュナ)

# FC 岐阜、J リーグ 100 勝の道のり。

|    | 試合日        |      | 相手   | スコア |
|----|------------|------|------|-----|
| 1  | 2008/3/20  | Away | 山形   | 5-3 |
| 2  | 2008/3/23  | Home | 徳島   | 2-1 |
| 3  | 2008/4/12  | Away | 福岡   | 5-1 |
| 4  | 2008/4/29  | Away | 水戸   | 3-1 |
| 5  | 2008/5/11  | Away | 熊本   | 2-0 |
| 6  | 2008/6/15  | Away | 横浜FC | 1-0 |
| 7  | 2008/6/28  | Away | 徳島   | 1-0 |
| 8  | 2008/7/6   | Home | 山形   | 2-1 |
| 9  | 2008/10/5  | Away | 水戸   | 4-1 |
| 10 | 2008/12/6  | Home | 鳥栖   | 1-0 |
| 11 | 2009/3/8   | Away | 栃木   | 1-0 |
| 12 | 2009/3/25  | Home | 群馬※1 | 1-0 |
| 13 | 2009/5/9   | Home | 岡山   | 4-0 |
| 14 | 2009/5/24  | Home | 熊本   | 1-0 |
| 15 | 2009/5/30  | Away | 福岡   | 1-0 |
| 16 | 2009/6/24  | Home | 徳島   | 3-0 |
| 17 | 2009/7/12  | Home | 愛媛   | 2-1 |
| 18 | 2009/7/19  | Home | 横浜FC | 2-0 |
| 19 | 2009/7/22  | Away | 群馬※1 | 1-0 |
| 20 | 2009/7/26  | Home | C大阪  | 2-1 |
| 21 | 2009/8/22  | Home | 横浜FC | 3-2 |
| 22 | 2009/9/2   | Away | 熊本   | 5-2 |
| 23 | 2009/9/12  | Away | 富山   | 2-0 |
| 24 | 2009/9/19  | Home | 水戸   | 3-1 |
| 25 | 2009/11/8  | Away | 岡山   | 2-0 |
| 26 | 2009/12/5  | Home | 徳島   | 2-1 |
| 27 | 2010/3/7   | Home | 富山   | 2-1 |
| 28 | 2010/4/4   | Home | 札幌   | 3-0 |
| 29 | 2010/4/11  | Away | 福岡   | 2-0 |
| 30 | 2010/4/29  | Away | 北九州  | 1-0 |
| 31 | 2010/5/2   | Home | 群馬※1 | 2-1 |
| 32 | 2010/5/22  | Home | 水戸   | 1-0 |
| 33 | 2010/6/12  | Home | 岡山   | 1-0 |
| 34 | 2010/8/15  | Away | 水戸   | 2-1 |
| 35 | 2010/8/22  | Home | 千葉   | 1-0 |
| 36 | 2010/9/12  | Home | 北九州  | 1-0 |
| 37 | 2010/9/23  | Home | 大分   | 2-0 |
| 38 | 2010/10/3  | Home | 徳島   | 2-1 |
| 39 | 2010/11/28 | Home | 栃木   | 4-2 |
| 40 | 2011/4/30  | Home | 水戸   | 2-1 |
| 41 | 2011/7/3   | Home | 京都   | 3-2 |
| 42 | 2011/8/21  | Away | 水戸   | 2-1 |
| 43 | 2011/9/28  | Away | 栃木   | 1-0 |
| 44 | 2011/10/15 | Home | 横浜FC | 4-3 |
| 45 | 2011/11/6  | Away | 岡山   | 2-1 |
| 46 | 2012/4/15  | Home | 北九州  | 1-0 |
| 47 | 2012/5/6   | Away | 岡山   | 1-0 |
| 48 | 2012/6/2   | Away | 千葉   | 1-0 |
| 49 | 2012/6/24  | Home | 町田   | 1-0 |
| 50 | 2012/9/2   | Home | 東京V  | 1-0 |

|     | 試合日        |      | 相手   | スコア |
|-----|------------|------|------|-----|
| 51  | 2012/9/17  | Home | 栃木   | 1-0 |
| 52  | 2012/9/23  | Home | 湘南   | 3-2 |
| 53  | 2013/4/14  | Away | 松本   | 2-1 |
| 54  | 2013/6/8   | Home | 長崎   | 2-1 |
| 55  | 2013/6/15  | Away | 鳥取   | 4-3 |
| 56  | 2013/6/29  | Home | 北九州  | 3-1 |
| 57  | 2013/7/27  | Away | 岡山   | 2-1 |
| 58  | 2013/8/11  | Home | 神戸   | 1-0 |
| 59  | 2013/9/15  | Away | 群馬   | 1-0 |
| 60  | 2013/9/22  | Home | 鳥取   | 2-1 |
| 61  | 2013/11/24 | Away | 富山   | 2-1 |
| 62  | 2014/3/2   | Home | 讃岐   | 3-1 |
| 63  | 2014/3/9   | Home | 富山   | 3-0 |
| 64  | 2014/4/13  | Away | 横浜FC | 1-0 |
| 65  | 2014/4/29  | Home | 群馬   | 1-0 |
| 66  | 2014/5/3   | Away | 東京V  | 1-0 |
| 67  | 2014/6/1   | Home | 京都   | 2-1 |
| 68  | 2014/7/5   | Away | 熊本   | 3-0 |
| 69  | 2014/7/26  | Away | 讃岐   | 2-1 |
| 70  | 2014/8/3   | Away | 長崎   | 2-0 |
| 71  | 2014/8/10  | Home | 愛媛   | 4-3 |
| 72  | 2014/8/31  | Home | 東京V  | 3-0 |
| 73  | 2014/10/4  | Home | 山形   | 1-0 |
| 74  | 2014/11/15 | Home | 松本   | 3-1 |
| 75  | 2015/3/15  | Home | 讃岐   | 1-0 |
| 76  | 2015/4/29  | Home | 長崎   | 1-0 |
| 77  | 2015/5/10  | Home | 愛媛   | 2-1 |
| 78  | 2015/5/17  | Away | 熊本   | 2-1 |
| 79  | 2015/6/21  | Away | 磐田   | 3-2 |
| 80  | 2015/7/22  | Home | 磐田   | 2-0 |
| 81  | 2015/8/23  | Away | 栃木   | 1-0 |
| 82  | 2015/8/26  | Away | 群馬   | 1-0 |
| 83  | 2015/9/13  | Home | 北九州  | 1-0 |
| 84  | 2015/9/23  | Away | 札幌   | 2-1 |
| 85  | 2015/9/27  | Away | 水戸   | 2-0 |
| 86  | 2015/10/25 | Home | 千葉   | 1-0 |
| 87  | 2016/3/13  | Home | 北九州  | 1-0 |
| 88  | 2016/3/20  | Away | 愛媛   | 3-0 |
| 89  | 2016/3/26  | Home | 水戸   | 1-0 |
| 90  | 2016/4/3   | Away | 徳島   | 3-1 |
| 91  | 2016/4/23  | Away | 金沢   | 2-1 |
| 92  | 2016/5/15  | Away | 岡山   | 1-0 |
| 93  | 2016/6/19  | Away | 横浜FC | 2-1 |
| 94  | 2016/9/18  | Home | 愛媛   | 2-1 |
| 95  | 2016/9/25  | Away | 山口   | 3-2 |
| 96  | 2016/11/3  | Home | 群馬   | 2-1 |
| 97  | 2016/11/6  | Home | 横浜FC | 2-0 |
| 98  | 2016/11/20 | Home | 東京V  | 4-2 |
| 99  | 2017/4/1   | Away | 町田   | 1-0 |
| 100 | 2017/4/8   | Home | 水戸   | 2-1 |

注：※1 この時は「草津」。

## 【第8節】湘南 3-3 岐阜

●要約すると、ココでの試合は口惜しい思いばかりだな、と。湘南相手に2012年のメドウ以来の3得点。なのに勝てない。あのアツシ(片桐淳至)のスーパー・ゴールが決まってもドローで終わった試合(2009年、2-2)を思い出す。あの時よりも試合内容は数段よかったんだが。けど、正直に言うと、先取点の後に湘南の2点目が決まらなくてラッキーだった。あの外国人さんが外してくれて助かった。代わりに、キツイ3点目を決められたけど。それにしても、先取点を決めたのは菊池? いったいぜんたい、湘南には菊地って名前は何人いるんだ? 大介は移籍したろ? クローンか? ほんと、厄介な選手だわ。でも、あの先取点は脱帽。助走も取れない体勢で、足の甲に当てるだけのコントロールショット。思い出しても腹が立つ(爆苦笑)。逆に、ウチの一番の見どころは同点ゴールでしょ。開幕戦からパス回し、それに付随する支配率が目立つ中でのあのゴール。最終ライン田森から縦へのフィード一閃。で、合わせたのが左SBの福村。それもアタマ! どんな勢いで上がってきたんだよ、と思いつつ、いや、元々SBの位置にいなかったら、キミ? 的な。徹底してショートパスを繋いでばかりだったのが、こんな裏ワザも使えるなんて。それから、ヘニキ。なんかウマイわ。オ・ウンゴルさん連れてくるの。ヘニキ・マジックか? 彼には一番似合わない言葉な気がする。しかし、勝ちたかった。勝たなきゃいけない展開だった。(あえて、そう書いておこう) 欲しかったなあ>3連勝。でも、ヘニキのゴールがオウンゴールに変更されたから枠内シュート二本で3点? 引き分けが妥当、かな? やっぱり。(ぐん)

## 【ユース】G1 リーグ、開幕です

●我々がFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は、2017年度も昨年同様G1リーグに所属して1年間のリーグ戦を戦います。その第1節のメジェール岐阜瑞穂FC(以下メジェール)戦が4/8に笠松町の岐阜フットボールセンターにて開催されたので、観戦に行ってきました。対戦相手のメジェールは2015年にユース年代のチームを創設したクラブチームで、FC岐阜ユースもクラブユース選手権での対戦経験がありました。そしてメジェールがG3、G2をそれぞれ1年間で通過して来たので、今年はG1リーグでも対戦する事となりました。試合はメジェールのボールでKickOff。序盤は互角な戦いでしたが、徐々にFC岐阜ユースのパスがつながるようになり、前半16分、27分に得点し、前半は2対0で折り返します。後半もFC岐阜ユースのペースで試合が展開していき、2点追加する事が出来、試合は4対0でFC岐阜ユースが勝利!! 無事今シーズンの初戦を飾る事が出来ました! その後インターハイ地区予選の為にG1リーグはお休みしていましたが、このGW中の5/3に第2節帝京大可児B戦、5/7に第3節県立岐阜商業戦が予定されています。両試合共に試合会場は岐阜フットボールセンター、KickOffは10時が予定されています。トップチームの試合とバッティングはしていませんので、良ければ観戦に行ってください。頑張れよ、応援しているからな! FORZA! FC岐阜ユース!! ※試合会場・時間は岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで必ず確認して下さい。(シュナ)

## 【第9節】讃岐 1-3 岐阜

●このスタジアムで2-1という展開になるのは2回目か。讃岐がJ2に来た年(2014年)。あの時も前半で2点取ったと思うんだけど関田が退場。その後にPK取られて万事休すか、と思ったら能活が止めてくれた。冷や汗を流しながらの勝利だったのは同じだけど、トドメの3点目を決めてくれた分、今回は喜びが倍増だったね。いずれにしても、前半の2点が勝負を決めた。でも、あの流れと勢いで得点できてなかったら……と思うとゾッとする。前半途中から「これで保つのか?」という懸念が的中した後半。しかも、押し込まれた場面からのカウンターがことごとく決まらない。ちゃんと、枠内へ。あと、パウロはもっと大本を活かそう。そしたら、もっと自分が生きてくる。それにしても、よくわからないのが讃岐の布陣。パウロと対峙したのが、なんでCBのエブソン? 彼をSBで起用したのが裏目だったんじゃないかな? 後半からいつものCBに戻したのが、それを如実に表している。さらに、福村のトイメンも出来がよくなかったし、キョーゴとのコンビで躊躇状態。見ていて、ホントに楽しい前半だった。ただ、今の讃岐だからハマったのかもしれない。それに、これからはどんどん暑くなって走り切るのが難しくなるから、今のやり方を続けるのなら、前半必ず点を取らないと厳しい。それとも、暑くなくても90分走り切る体力を身につけるつもりなのかな? 想像するだけでも恐ろしい。ぜひ、見てみたい! これで成績は3勝3敗3分。トリプル3。得失点差がプラスなのはご愛嬌。でも、プラスの方がいいに決まってるよね。それから、キョーゴと福村がDAZNのベスト11だぞーん! ま、当然だね。他の見てないけど。でも、やっぱり、MVPはキョーゴだよな? 決まりでしょ! 最後まで走り切っちゃったよ。最初っからトバしてたんで、途中交替は必至。また、足つっちゃうんだろうなって思った。ゴメンナサイ。おまけに、終了前に讃岐DFと接触して傷んでたのに、鬼のようなパス出されて、走って走らされて……。試合後のトラメガ・パフォーマンス? 済ませていったん帰りかけたのに、パウロに呼び戻されて小走りで戻って来てくれて。思わず、「もう、走らなくていいから!」と叫んだけど聞こえてないな、たぶん(苦笑)。しかし、フロントさんはちゃんと話をつけてあるんだろうな? 複数年契約の。でないと、ヨソから……。あとは、大本がいつ決めてくれるか、だ。楽しみにしてるよ。さて、いよいよGW。厳しい日程の中、きちんと勝ち点を取り切ることが出来るか。気の抜けない日が続く。まずは、目の前の金沢戦だな。やりきろう!(ぐん)

●自宅でDAZN中継を視ていての感想だが、どこにも非の打ちどころのない勝利……ではないのは間違いない。前半からプレスをかけまくるFC岐阜の選手を視ていて「この気候でこんなサッカーやったら、後半は脚が止まるだろうなあ」と思っていたら案の定。同点にされる可能性は低くなかった。それもこれも、3点目を早めに奪えなかったこと。「自分たちで試合をむずかしくする」というのはよく使われる表現だけど、この試合でもそれを強く感じた。もっとも、讃岐も「自分たちで試合をむずかしくしていた」感がある。前半のエブソンSB起用は完全に裏目だったと言っていいかと。

1ゴール2アシストの古橋は完全に覚醒した感があるけれど、より強く印象に残ったのは難波。2点目も3点目も、彼がしつこく相手DFにプレスをかけたことでボール奪取に成功し、そこから得点に結びついている。この「前で仕事をする」というのが彼の持ち味。頼れるベテランが大木「パスサッカー」に必要な存在になった。

水戸戦の感想でも書いたが、横浜戦の敗戦を観ての不安は解消されつつある。しかし、この日の後半の止まりっぷりは、まだ心配だ。岐阜の夏はもっと暑い。そして、選手が動かないパスサッカーは、閉塞しか産み出さない。(吉田铸造)